

伊王野小学校廃校後の跡地利用は

町 跡地検討委員会で検討

問 伊王野小学校は、学校適正配置計画により平成28年廃校になる。現在の校舎は耐震構造になっていないので、取り壊して更地にし、新たな整備を要望する。

地域住民の要望は、八溝地域の発展と活性化を図るために、伊王野支所及び公

民館の移転に伴い、農産物とアonzの加工体験施設・小中学生の学習施設・高齢者の談話室・民謡、舞踏、ダンス、郷土芸能施設や歴史文化展示室など、仮称「那須町八溝地域多目的センター」として複合施設を強く望んでいる。

国がこれから始める地方

創生事業交付金・補助金等の援助を受け、また、那須町第7次振興計画に盛り込んだ検討は。

企画財政課長

庁舎内に

設置した学校跡地利用検討委員会で検討している。地元の見聞も聞きながら更に検討していく。

県道沓掛く町田間のバイパス建設計画は

町 地権者の理解を得て要望

問 県道黒磯・棚倉線の沓掛く町田間の道路は、

道幅が狭くて大型車両のすれ違いが困難である。冬は、路面が凍結して事故の発生が多く、通勤・通学等に支障をきたしている。

そこで、国道294号線稲沢地内、マスコ設備事務所手前から松本建設事務所前に通じる農道を基本として、

新たに70mのバイパス建設することにより安全・安心な道路となる。

このバイパス建設についての町の考えは。

建設課長

地域住民と地権者の理解が得られるなら県へ要望する。



白井正則

大型車輛のすれ違い困難な県道（稲沢地内）



平成28年に廃校になる伊王野小学校